

**NEDO「マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬技術の開発」
プロジェクト・キックオフシンポジウム
マイクロドーズ・PETによる新しい創薬ストラテジー
体内動態・薬効・安全性予測技術の革新に向けてー**

主催：有限責任中間法人 医薬品開発支援機構（APDD）

後援（予定）：NEDO 技術開発機構 協賛：日本薬物動態学会、他予定

2009年1月21日（水） 東大鉄門講堂 13:00-18:00 参加費無料、18:00より懇親会（有料）

マイクロドーズ臨床試験の実施に関するガイダンスが2008年6月通知され、日本の医薬品開発は新たな時代を迎えようとしています。医薬品開発支援機構（APDD）では、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）橋渡しプロジェクトの一環として、「マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬技術の開発」の委託を受け、世界に先駆けた薬物動態・薬効の定量的予測技術を開発する研究事業に着手しました。本研究の成果は、日本における創薬戦略を革新し、世界をリードする道を拓くと期待されます。ふるってご参加ください。

発表者	演題	時間
主催者・来賓挨拶		
高仲 正 医薬品開発支援機構	主催者挨拶	13:00-13:05
経済産業省、厚生労働省、NEDO 技術開発機構より		13:05-13:30
キーノート・レクチャー		
井村 裕夫 独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター	マイクロドーズ・PET・オミックスの活用による統合的迅速臨床研究（ICR）の推進	13:30-14:00
マイクロドーズの意義と研究課題		
杉山 雄一 東京大学、NEDO プロジェクト PL（プロジェクトリーダー）	マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬技術の開発：薬物動態・薬効の定量的予測技術を基盤として	14:00-14:50
山下 伸二 摂南大学	薬物吸収性の評価の重要性と MD・PET による医薬品開発ストラテジーの革新	14:50-15:20
（休憩）		15:20-15:30
APDD・企業コンソーシアムより		
池田 敏彦 / 栗原千絵子 医薬品開発支援機構	APDD 設立理念と本事業における役割	15:30-15:50
山田 一磨 呂 田辺三菱製薬	企業側からの期待：日本の製薬企業のマイクロドーズ臨床試験に対する期待と今後の展望	15:50-16:10
仙田 哲 積水メディカル	測定 CRO からの期待：マイクロドーズ臨床試験に対してどのような貢献が可能か	16:10-16:30
共同研究機関より		
熊谷 雄治 北里大学東病院	非標識体 MD 臨床試験：革新的戦略への挑戦	16:30-16:55
渡辺 恭良 理化学研究所	PET 臨床試験の新たなる展開：国家プロジェクトとしての環境整備に向けて	16:55-17:20 （25分）
須原 哲也 放射線医学総合研究所	中枢性医薬品開発における PET 活用の実例と展望	17:20-17:45
まとめ		
杉山 雄一		17:45-18:00
懇親会 山上会館		18:00-20:00